

# 専門高等学校における産業教育の推進

(農業・工業・商業・家庭・看護・情報・福祉など)

専門高等学校で学ぶ生徒が、夢と希望を持って学習に励み、変化の激しい社会で生き抜くために、新しい課題に対して試行錯誤しながら粘り強く取り組むことで、グローバル化する社会の中で地域産業を担うスペシャリストとして活躍することが期待されています。

## 新たな時代に対応したスペシャリストの育成

### 岡山県地域人材育成事業

地域企業と学校が連携して、専門分野に関する知識や技術を身に付けます。

社会人講師による資格取得に向けた指導の様子



### 産学官連携教員研修

県内の企業団体において、教職員が産業現場の見学や体験研修を行い、学校での教科指導やキャリア教育に役立てます。

教職員の産業現場見学の様子



専門性を生かしたインターンシップ

社会人講師の活用

長期間のインターンシップ等の推進

各種資格検定の取得

実践的な教育の場の充実

## 具体的な充実方策

高等教育機関への接続

教員の企業等での研修の推進

産業教育の周知

地域ごとの産業教育懇談会の開催

### “飛び出せ!専門高校生” 地域実践サポート事業

学校での学習成果を生かして、生徒が地域社会で活動することにより、実践力を身に付けます。

地場産業のデニム地を素材とした自作の帆を付けたみこしで地域の祭りに高校生が参加した様子



### 来年度は

### 全国産業教育フェア岡山大会

平成24年11月10日(土)～11日(日)の2日間、岡山市北区の桃太郎アリーナをメイン会場として開催し、生徒による産業教育の周知を図ります。

平成22年度茨城大会の様子



# 防災教育の推進

今すぐしよう防災チェック

#### チェック1

東南海・南海地震について知っていますか?

#### 今後起こる地震について知っておこう

今後30年以内に東南海、南海地震の発生確率は60～70%とされています。その際、岡山県では震度5以上、津波が3m以上の地域があると予測されています。

#### チェック2

自分の居住地域等では、どのような被害が想定されているかを知っていますか?

#### 今すぐハザードマップで確認を!

市町村作成のハザードマップで地震・津波、土砂災害等の起こりやすい地域かどうか、また、避難場所や避難経路なども確認しておきましょう。

#### チェック3

家族で避難場所や連絡方法を話し合っていますか?

#### 避難場所等を家族で話し合おう

災害で家族がバラバラになったときの集合場所(避難場所)や連絡方法を話し合っておきましょう。また、災害用伝言ダイヤル「171」などのサービスも確認しておきましょう。

#### チェック4

災害に備えた非常用持ち出し品を準備していますか?

#### 非常用持ち出し品を準備しよう

水、非常食、ライト、常備薬など「無ければ困る物」を常にまとめて身近に置いておきましょう。

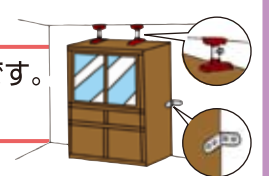


#### チェック5

テレビや家具などをしっかり固定していますか?

#### 家具等の転倒・落下を防止しよう

地震発生時の被害のおよそ半数は、家具等の転倒によるものです。転倒防止金具等の設置などの対策をしましょう。



## さらに…

災害時には学校・近隣住民などの地域との助け合いが不可欠です。普段から声をかけ合うなど、よりよい関係をつくっておきましょう。



#### 関連情報(ホームページから検索)

- 「岡山県総合災害情報」  
災害の知識・災害情報・ハザードマップ等防災の総合的な情報が掲載されています。
- 「岡山県防災情報メール配信サービス」  
地震・津波情報や避難情報など最新の防災情報が手に入ります。
- 「災害時伝言サービス」  
NTT災害用伝言ダイヤル「171」や各種携帯電話伝言サービスを利用しましょう。

岡山県では、平成27年度末までに、県立学校施設の耐震化率100%を目指し、取り組んでいます。